



中国

24 上海宝山インフラ整備事業(1)(2)

A
B
C
D

上海市宝山地区において、港湾施設を建設することにより石炭・鉄鉱石等の需要増大への対応を図るとともに、火力発電所を建設することにより急増する電力需要への対応を図り、もって鉄鋼業の成長を通じた地域の経済発展に寄与する。

承諾額/実行額	309億9,900万円/208億9,000万円
借款契約調印	1995年1月、1995年11月
借款契約条件	金利2.6% (1) / 2.3% (2)、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイド
貸付完了	2002年2月、2002年12月
実施機関	上海市人民政府計画委員会



外部評価者 三島光恵(オーパシス・プロジェクト・マネージメント・コンサルタンツ(株))
現地調査 2004年11月

評価結果

本事業では、ほぼ計画通りに係留施設(バース3基)および火力発電設備(350MW)等が建設された。期間は、ボイラーの正常稼働に向けての調整に時間を要したため計画を若干上回ったが、事業費は計画を下回った。

港湾バースの取扱貨物量とバース占有率は年々上昇しており、貨物量は2003年に取扱能力1,400万トン/年の約9割に達し、バース占有率と平均待ち時間はそれぞれ当初計画の69%、27時間に対し、04年実績では70%、19時間となっている。また、発電量は03年に2,428GWh/年に達し、当初計画の2,303GWh/年を超えているほか、施設利用率と稼働率はそれぞれ当初計画の75%、79%に対し、03年実績では79%、92%となっている。

本事業の主な受益企業(宝山鋼鉄公司)の粗鋼生産高は1999年の750万トンから03年には1,155万トンへ増加し、

主な顧客企業の製品である自動車や家電の生産量は大幅に伸びている。環境面では、港湾の汚水対策や発電所における低硫黄炭の使用により、環境へのマイナスのインパクトを最小限にする努力がなされている。

運営・管理を担当している宝山鋼鉄公司の技術および体制面は問題なく、財務面は良好である。

第三者意見

本事業は、港湾と発電施設の整備により、上海の経済成長に貢献した。上海においては、環境に配慮した政策が望まれる。

有識者 Ms. Xie Yingxia (学者)

清華大学学士(環境工学)。現在、中国都市計画設計院インフラ計画設計研究所長。専門は環境工学。

取扱貨物量とバース占有率の推移



上海市全体の港湾バースは2003年に3.16億トンに達しており、本事業によるバースの取扱能力1,400万トンは、その約4.4%に相当する。

本事業により建設された施設の運営・管理

本事業により建設された施設は、宝山鋼鉄公司が一括して運営・管理しており、職員の訓練は定期的に行われている。また、設備の状態および個人の業績等により、毎年職員の技術能力評価を行っている。



発電所のボイラー